



会長退任あいさつ

同窓会前会長 佐々木俊克

函商同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、私、令和五年七月二十二日の学校創立百三十七周年記念函商同窓会総会において、同窓会会長の退任をご了承いただきました。長きにわたりご支援を賜り誠に有難うございました。

私が同窓会に関わってきた期間は十年強と短いものでした。その中でも全同窓生とともに百三十周年記念総会の節目に役員の一員として関わられたことは感慨深い思い出です。

関西・名古屋・東京・青森・札幌・苫小牧の主要な拠点支部に足を運び、会う機会の少ない先輩たちから「函商の学生生活は楽しかった」と笑顔で思い出を語るシーンに立ち会っていますと「さすがに函商同窓会の戦列は長い」と感じました。

また、拠点を預かる会長・支部長様方からは「この一灯(拠点)を守り抜く」覚悟が伝わってきて私自身に叱咤激励をいただき、伝統の継承を担う責任者として身を引き締めています。本部と支部の一体感は基本的な命題だと認識しています。

私の会長在任期間は五年。うち、コロナ渦にあって会務の多くが物理的に実行できず、「各地支部・同窓生との絆をどのように保っていけるのか?」と悩み、忸怩たる思いと無念でありませんでした。

新会長の中村ひでの氏は同窓会に関わってきた期間も長く精通していますので強みを発揮して三年後に控えた創立百四十周年記念同窓会の輝かしい歴史の幕を開けていくことと思えます。

結びになりますが、同窓会員皆様のご健勝を祈念申し上げてご挨拶いたします。これまでのご支援とご協力ありがとうございました。

母校に誇りを！ 絆に感謝を！